

あつという間のこの一年

# 一年を振り返って 和田地区の重大ニュース

『れい明』編集委員会が選ぶ

もうすぐ年の瀬、振り返って見ると、今年もいろいろな出来事や、おめでたい話題がありました。今年も、れい明編集委員会と、和田地区の重大ニュースを取りまとめました。

各ご家庭、地域では、どのようなことがありましたか。また、来る年への願いとして、この一年を振り返って振り返ってみましょう。

## ★ 異帯巾着魚

豪雪 一月十三日、本格的な寒波の襲来で豪雪に見舞われました。

朝方より降り始めた雪は、見る見る降りつもり夕方には、三十五センチに達しました。

和田小・中学校は午前中で授業を打ち切り、一斉下校も行なわれました。

また、道路の除雪作業も、明十四日の夕方までかかるなど、最近まれな豪雪にみまわれました。

遅れた梅雨明け 気象台の梅雨明け宣言が変更されるなど、本格的な夏の訪れは八月に入ってからでした。

## ★ 豪雨

八月十三日未明、前線の停滞による集中豪雨となり、和田で百八十里を記録しました。特に、西広沢矢地峠方面では随所に災害が発生するなど、馬神方面は記録的な豪雨に見舞われました。

## ★ 和田中学校校舎 落成

昨年の夏から改築工事が行なわれていた、和田中学校の全面改築工事が三月に完成しました。

新校舎は、鉄筋二階建、述べ千五百九十九平方メートル総工事費二億三千二百万円を要しました。

## ★ 高瀬で国際サマーキャンプ

七月二十五・二十六日、高瀬の青少年訓練所にお

いて、岩国米基地のペリースクールの生徒を迎え、国際サマーキャンプが行なわれました。

このキャンプには、和田中学校の生徒も市内の中高校生と一緒に参加して、国際人としての心の触れ合いを深めるなど、国際感覚を培いました。

## ★ 農産加工グループ発足

一村一品運動が叫ばれているなか、「柿葉茶」と「野沢菜漬」が、和田の特産品として、加工グループによって、生産販売が始められました。

この、和田農産加工グループの組織も、去る、九月七日、和田地区の婦人会、生改連、和加草グループの同志の方々を中心に結成されました。

これからの発展が期待されております。

## ★ オープン ナイター施設

地区民待望のナイター設備が完成し、十月三日ナイター開きが行なわれました。

東西対抗ソフトボールには、子供達も大人に混じってプレーするなどナイター気分を満喫しながら完成を喜び合いました。

## ★ 県無形文化財に当石戸神楽

五穀豊穡、疾病退散の神事として、千二百八十年の伝統を継ぐ、三作「岩戸神楽舞」が、去る十月に県の無形民俗文化財に指定されました。

この神事は、七年ごとに行なわれておりますが式年祭に当たった今年も、去る、十一月二十一・二十二日の両日、河内神社で、地元、原赤・林・中村地区の氏子達によって取り行なわれました。

## ★ 国道二二七六八工事本格化

国道三七六号線、米光上地区より中村地区に至る延長約二、七キロの未改良区間の工事が本格的に着手されました。

全線開通の見通しは、来年度のようです。

# 慶弔者この一年

## 『おめでとう』

月日	地区名	氏名	父名	母名
12.14	打林野	山田 祐也	良雄	洋子
1.19	大谷	宮田 佳祐	信也	智子
1.14	米下	満田 寿美	博之	紅美
4.7	田戸	藤村 光代	博之	久美
7.21	米下	森重 涼	茂	美子
6.20	兼山	平野 竜次郎	昭彦	洋子
7.8	和田	石光 昭太郎	昭彦	江子
7.31	中村	田原 健太	昭彦	和浩
8.12	山縣	山縣 直樹	昭彦	光一
10.7	大原	家永 和昭	昭彦	友
11.6	米下	原田 慎也	昭彦	友
11.10	米下	蔵本 純一	昭彦	友

## ご冥福をお祈りいたします

月日	地区名	氏名	年
11.16	十郎	今澄 スミ	89
1.23	西沢	佐崎 ヌイ	92
12.22	明	小松田 熊雄	94
1.23	大谷	宮田 カメヨ	75
1.24	原	山根 キヨコ	79
3.28	池田	渡辺 サトノ	78
5.8	米下	松田 佐市	76
6.1	兼山	山田 敏尾	87
6.30	山	藤井 イト	92
8.18	和田	高木 佐一	80
9.12	山	松田 照子	89
1.21	山	藤井 貞子	66
10.4	山	森重 正	63
1.7	山	多田 フジコ	70
1.10	米下	山本 晃	69
1.24	平木	原田 春一	86
11.17	車木	多田 フミコ	74
1.29	大谷	宮田 博	48
12.6	大原	有井 シナ	70

茶の葉を食べて美味かったアツこれだ

### 『お茶の葉おにぎり』料理コンクールで受賞

料理のアイデアマン 原 マツ子さん

去る、十一月二十五日、山口市で行なわれた、第三回山口県ふるさと料理コンクールで、神頭谷の原 マツ子さんの出品された「お茶の葉おにぎり」が、見事優秀賞に選ばれました。

お茶の葉おにぎりは、和田の特産、高瀬茶を活かしたもので地域の皆さんも是非ご家庭でお作りなさっては如何でしょうか。

原さんより、作り方のポイントを、寄稿していただきましたので紹介いたします。

#### 材料

お米 一升・お茶の葉 四十グラム・水炊きした大豆 一合・刻んだピーナツ 五勺・出し昆布少々・酒 一合 食塩 三十グラム準備します。

#### 作り方

☆ 釜にお米と出し昆布を入れて二十〜三十分 間ひたしておきます。

(水は、普通御飯を炊く場合より少なめにする。)

☆ 火で炊き始めてから大豆、ピーナツ、酒、食塩をいれます。

☆ 沸騰(沸き立つ)したら、こし器にお茶の葉をいれ、煮立った中に四〜五回浸します。

すると、釜の中の色は、黄色を帯びてきます。

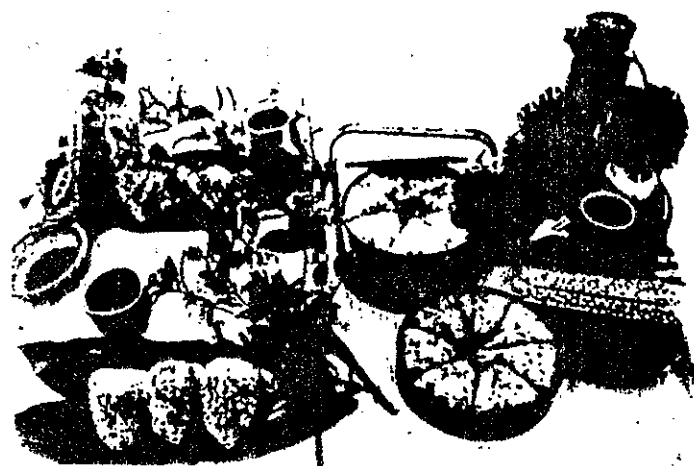
☆ 浸しおえた茶の葉は、すぐに水きり容器で冷まします。

☆ 炊き上がって、冷ました茶の葉を御飯の中にいれ、かき混ぜると茶の葉御飯が仕上がります。また、おむすびにしますと、緑色の茶の葉が、いつそう映えて食欲を増します。

を帯びてきます。

☆ 浸しおえた茶の葉は、すぐに水きり容器で冷まします。

☆ 炊き上がって、冷ました茶の葉を御飯の中にいれ、かき混ぜると茶の葉御飯が仕上がります。また、おむすびにしますと、緑色の茶の葉が、いつそう映えて食欲を増します。



### 人助けのお地蔵さん

### 賽銭 年末助け合いに寄付



もあるそうで、今では、積み積もって、そのお賽銭が一貫以上もたまっていたそうです。しかし、このお金、一体どのように使ったらよいものか、果ては、……奥さんと相談の結果、年末助け合い募金に寄付することになったそうです。そして、去る十三日、お地蔵さんの目の前で、市社会福祉の方へ手渡されました。お地蔵さんにとっては、猫に小判。果たして、お金はいくらあったのか、気になるのは人様。いつまでも、困った人をお助け下さい。

年の背を迎え、あわただしい中のホットな話題です。平木のライスセンター入り口に在る、人助けのお地蔵さんは、特に、イボをよく直してくれるそうですが、最近、イボに悩んでいられる方々のお参りが、頻繁にあるそうです。そこで、そうした方達のために、平木の森重徳男さんは、毎日、このお地蔵さんのお守をしておられます。

お世話の中には、地蔵さんにあげられたお賽銭の守

#### 県会長賞を受賞

#### 老人クラブの山田さん

このほど県老人クラブ会長より、永い間、老人クラブ和田支部の会長として、お世話をしておられます山田義一さん(巢山)が、その功績を認められて会長賞を受けられました。

#### 和小 教頭先生 かわる

和田小学校、大下教頭先生が、12月1日付けで徳山市教育委員会に転任されました。後任には、大和町立塩田小学校より、西本信正教頭先生が着任されました。住まいは校長住宅です。

#### 年末夜警 26日から

今年も、次のとおり年末夜警が行なわれます。お互い火の元には十分注意しましょう。

26日(土) 特設消防隊	29日(火) 和田 "
27日(日) 馬神消防団	30日(水) 高瀬 "
28日(月) 米光 "	

お知らせ

あれこれ

#### 『千石岳』ご来光の集い

元日の「日の出」を千石岳で迎えましょう。高瀬集会所前を朝5時半出発し、徒歩で登頂します。車でお越しの方は、千石林道を利用しますと近道となります。

#### 出初め式 1月7日

#### 造林の届はお早めに

来年の造林を計画されておられます方は、森林組合に造林届を出して下さい。また、苗木の入用な方はお早めに注文下さい。